

Yolk Sac Tumor (卵黄囊腫瘍) の治療結果に関する調査研究

●はじめに

卵巣悪性腫瘍の一つに、卵巣胚細胞腫瘍という種類があります。この中の代表的なものとして未分化胚細胞腫、未熟奇形腫、卵黄囊腫瘍(YST)が挙げられます。

胚細胞腫瘍に対しては手術や化学療法が行われますが、これまでの報告では YST の治療成績は未分化胚細胞腫、未熟奇形腫のそれに比べて劣っています。また YST は未分化胚細胞腫や未熟奇形腫に比べ数が少なく、YST に対する妊孕性温存手術例と、非温存手術との治療成績の比較は不十分で、その妥当性には疑問が残ります。

今回、私たちは多くの YST の調査をすることで、III-IV 期ではまだ予後不良である YST の治療戦略や、進行例に対する妊孕性温存手術の妥当性を検証します。

●対象

産科婦人科で 1980 年 1 月 1 日から 2007 年 12 月 31 日に YST に対する治療を開始した方を対象にしています。

●研究内容

カルテ上から年齢、婚姻状況、腫瘍の種類、進行期、治療内容、予後、治療後の妊娠出産状況などを収集します。収集した情報は匿名化された上で筑波大学医学部に送られ解析されます。

●個人情報の管理について

本調査は、「疫学研究に関する倫理指針」にもとづき、患者さんの個人情報の保護に努めています。本研究により得られた結果は、学会や論文で発表する場合がありますが、その際に患者さんを特定できる情報については一切含まれていません。対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡ください。

●研究期間

調査期間: 許可日～2012 年 7 月 31 日 研究期間: 許可日～2015 年 3 月 31 日

●医学上の貢献

これまでの YST に対する治療と予後が明らかになれば、今後予後の改善や適切な治療法の選択に寄与することができると期待されます。

●研究機関

九州大学病院・医学研究院生殖病態生理学 教授 和氣徳夫 (責任者)

同 准教授 小林裕明 同 講師 園田顕三

同 助教 井上貴史 同 助教 矢幡秀昭

同 助教 奥川 馨 同 助教 兼城英輔

周産期・小児医療学講座 助教 河野善明

JCOG 婦人科腫瘍グループに属する 36 施設(九州大学病院を含む)と待機施設の 8 施設、合計 44 施設

研究事務局: 筑波大学臨床医学系産婦人科

TEL: 029-853-3073 E-mail: toyomi-s@md.tsukuba.ac.jp

●連絡先

〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1 TEL: 092-642-5395 担当者: 園田顕三、河野善明